

○浜松医科大学大学院医学系研究科長期履修学生規程

(令和7年12月18日規程第53号)

(趣旨)

第1条 この規程は、浜松医科大学学則(平成16年規則第25号。以下「学則」という。)第34条第3項の規定に基づき、大学院医学系研究科において長期にわたって計画的に教育課程を履修する学生(以下「長期履修学生」という。)について必要な事項を定める。
(対象学生)

第2条 長期履修を希望することのできる者は、職業を有している等の理由により学則第34条第1項で定める修業年限(以下「標準修業年限」という。)を超えて、一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修することを希望する学生とする。
(長期履修期間)

第3条 長期履修の期間は、博士前期課程にあつては3年又は4年、博士後期課程にあつては4年、5年又は6年、博士課程にあつては5年又は6年とする。
(長期履修の申請)

第4条 長期履修を希望する学生は、別記様式第1「浜松医科大学大学院医学系研究科長期履修申請書」により学長に申請しなければならない。

2 別記様式第1の提出期限は、次のとおりとする。

- (1) 入学時に行う場合は、入学年度の4月15日(10月入学者については10月15日)までとする。
- (2) 在学中に行う場合は、4月入学者は長期履修を希望する前年度2月の本学が指定する期日まで、10月入学者は長期履修を希望する年度8月の本学が指定する期までに申請するものとする。ただし、最終学年にある者は申請できない。

3 別記様式第1による申請があつた場合は、当該学生の教育課程に応じた教授会等を経て学長が許可するものとする。

4 前項に規定する教授会等は、大学院医学系研究科看護学専攻教授会、大学院医学系研究科医学専攻教授会又は光医工学共同専攻協議会とする。

(長期履修期間の変更)

第5条 長期履修学生は、第4条の規定に基づき許可された長期履修期間の短縮を希望する場合は、別記様式第2「浜松医科大学大学院医学系研究科長期履修期間変更申請書」により学長に申請しなければならない。

2 別記様式第2の提出期限は、当該学生が希望する修了予定学期の前学期において本学が指定する期日までとする。

3 別記様式第2による申請があつた場合の許可については、前条の規定を準用する。

4 長期履修期間の変更は、在学中1回限りとし、学期単位とする。

(特例による課程修了)

第6条 長期履修学生については、学則第44条第1項、第2項、第3項及び第4項ただし書きの規定は適用しない。

(授業料の徴収方法)

第7条 長期履修学生の授業料の年額は、浜松医科大学諸料金規程(平成16年規程第52号)に定める授業料の年額に、標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額から既に徴収した授業料の総額を差し引いた額を長期履修期間の年数で除して算出した額とする。また、10円未満の端数がある場合はこれを切り上げる。

2 第5条の規定により長期履修期間の変更が許可されたときは、当該学生が変更後に当該期までに支払うべき授業料の総額から既に徴収した授業料の総額を差し引いた額を徴収するものとする。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、教授会等に諮って学長が定める。

附 則

この規程は令和7年12月18日から施行する。

別記様式第1(第4条関係)

浜松医科大学大学院医学系研究科長期履修申請書

[別紙参照]

別記様式第2(第5条関係)

浜松医科大学大学院医学系研究科長期履修期間変更申請書

[別紙参照]

浜松医科大学大学院医学系研究科長期履修申請書

浜松医科大学長 殿

指導教員印	副指導教員印

申請者
専攻 _____
学籍番号 _____
氏 名 _____

下記により、長期履修を許可くださるようお願いいたします。

1. 長期履修を必要とする理由

2. 指導教員の意見

3. 長期履修の期間

年 月 日 ～ 年 月 日 (年間)

※申請可能な長期履修期間

博士前期課程：3年・4年、博士後期課程：4年・5年・6年、博士課程：5年・6年

別記様式 2

浜松医科大学大学院医学系研究科長期履修期間変更申請書

浜松医科大学長 殿

指導教員印	副指導教員印

申 請 者
専 攻
学籍番号
氏 名

下記により、長期履修の期間変更を許可くださるようお願いいたします。

1. 長期履修の期間変更を必要とする理由

2. 指導教員の意見

3. 当初認定された長期履修期間

年 月 日 ～ 年 月 日 (年間)

4. 変更後の長期履修期間

年 月 日 ～ 年 月 日 (年間)